

敷地内除染の進捗状況について

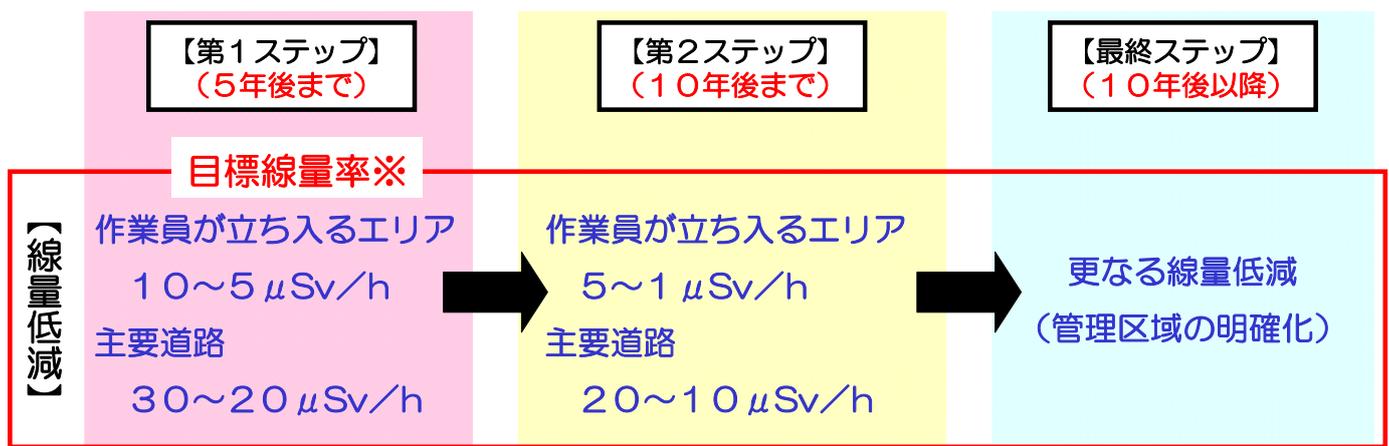
平成25年9月26日
東京電力株式会社



1

線量低減の中長期目標

多くの作業員が立ち入る場所の線量低減を図る観点から、対象箇所を選定し、各ステップに示す範囲で目標線量率を設定して除染を行う。目標線量率は、各ステップごとに段階的に下げていき、最終的に事故前の状態に近づけていくことを目指す。



【これまで線量低減を実施している作業員が立ち入るエリア】

- ・ 免震重要棟周辺 (H24.1実施)、免震重要棟前のバス停車エリア (H24.8~9実施)
- ・ 正門周辺 (H24.12~H25.4実施)
- ・ 入退域管理施設。構外駐車場 (H24.7~H25.6実施)

※目標線量率は、「主要道路」は車両による通過のみのため、「作業員が立ち入るエリア」とは別に設定する。



2

H24～H26年度の敷地内除染実施計画

除染等により現状の線量率を目標線量率まで低減させて、作業員の線量限度を超えないようにするとともに、合理的に達成可能な限り段階的に線量を低減していく。なお、具体的な計画（除染範囲、除染方法等）は、現場の地形や線源の状況等に応じて、個別に立案する。

	対象エリア	除染前の線量率	除染後の線量率【目標値】	除染ツール（⑤～⑦は予定）	実績・計画
①	免震重要棟周辺 (バス乗降・待機エリア)	60 μ Sv/h (バス内)	15 μ Sv/h【30】 (バス内)	鉄板敷設による遮へい	H24年度 実施済
②	正門周辺 (警備員の常駐エリア)	14 μ Sv/h	4 μ Sv/h【5】	超高圧水切削（アスファルト）、 天地返し（芝生、砂地等）	H24～25 年度実施済
③	入退域管理施設、 構外車両駐車場	34 μ Sv/h	2 μ Sv/h【5】	建設時の伐採、表土除去、 アスファルト舗装等	H24～25 年度実施済
④	厚生棟・企業棟周辺	～20 μ Sv/h	【10～5 μ Sv/h】	側溝に蓄積した土砂の除去、 覆土、天地返し等	H25年度
⑤	免震重要棟周辺 (出入口前、駐車場)	～180 μ Sv/h	【10～5 μ Sv/h】	アスファルトの撤去等	H26年度～
⑥	5, 6号機周辺	～30 μ Sv/h	【10～5 μ Sv/h】	超高圧水切削（アスファルト）、 天地返し（芝生、砂地等）等	H26年度
⑦	主要道路（汐見坂等）	～220 μ Sv/h	【30～20 μ Sv/h】	側溝に蓄積した土砂の除去、 覆土、天地返し等	H26年度～



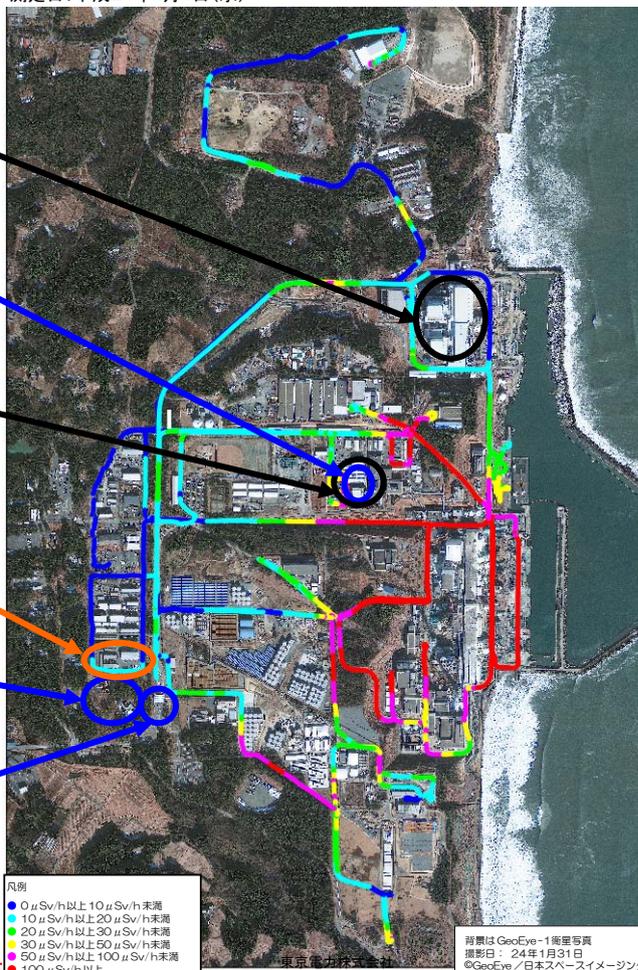
なお、平成27年度以降については、現場の状況を勘案し、適宜計画を立案していく。

敷地内除染の実施エリア

走行サーベイによる車内の空間線量率マップ

測定日：平成24年5月9日（水）

- ⑥5, 6号機周辺
(平成26年度予定)
- ①免震重要棟周辺 (バス乗降・待機エリア)
(除染実績) バス内で60→15 μ Sv/h
- ⑤免震重要棟周辺 (出入口前・駐車場)
(平成26年度予定)
- ④企業棟・厚生棟周辺
平成25年度計画の除染範囲
- ③入退域管理建屋周辺
(除染実績) 34→2 μ Sv/h
- ②正門周辺
(除染実績) 14→4 μ Sv/h



凡例
 ● 0 μ Sv/h以上 10 μ Sv/h未満
 ● 10 μ Sv/h以上 20 μ Sv/h未満
 ● 20 μ Sv/h以上 30 μ Sv/h未満
 ● 30 μ Sv/h以上 50 μ Sv/h未満
 ● 50 μ Sv/h以上 100 μ Sv/h未満
 ● 100 μ Sv/h以上

撮影はGeoEye-1衛星写真
 撮影日：24年1月31日
 ©GeoEye/日本スペースイメージング

※⑦主要道路の除染は、車両通行量や作業員の立ち入り状況等を考慮して、実施要否や実施時期を判断する。

